

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		総合防災訓練開催事業						予算事業名		防災広場開催事業費			
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令 災害対策基本法				
				09	01	05	1101	経常経費					
総合計画体系		2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分		主要事業			
		2-4安全に暮らせる安心なまちづくり(防災・防犯・安全)								重点事業			
		①防災対策の充実						担当課係等		防災安全課			
		2防災訓練等の実施								消防防災係			
事業期間		継続 (平成27年度～令和 5年度)											
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
防災訓練への参加を通じて、速やかな避難所開設と市民の避難、並びに防災対策に関する意識と自主防災技術の普及向上を図り、関係団体との連携強化に努める。							災害対策基本法第48条により市は防災訓練を行う義務がある。						
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】						
大規模災害、新型コロナウイルス感染症対策を想定した実践型の総合防災訓練。							地域住民、高齢者クラブ、自主防災会、その他防災関係団体						
							【事業をとりまく環境の変化】 実践的な訓練種目の導入と、各地区の避難所及び施設管理者参加による地域防災意識の啓発。 令和元年東日本台風、及び新型コロナウイルス感染症対策に配慮した実践型の訓練を行うため、今後訓練種目等の検討を行う必要がある。						
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】					
新型コロナウイルス感染症対策を想定し、災害対策本部立上げ、避難所開設訓練、避難誘導訓練、広報通信訓練、他				新型コロナウイルス感染症対策を想定し、災害対策本部立上げ、避難所開設訓練、避難誘導訓練、広報通信訓練、他				新型コロナウイルス感染症対策を想定し、災害対策本部立上げ、避難所開設訓練、避難誘導訓練、広報通信訓練、他					
■事業費													
				R01年度		R02年度							
財源内訳	国庫支出金			0		0							
	県支出金			0		0							
	地方債			0		0							
	その他			0		0							
	一般財源			1,137		1,456							
歳入計(千円)				1,137		1,456							
歳出内訳	節(番号+名称)				金額(千円)		金額(千円)						
	08 旅費				317		398						
	10 需用費				318		555						
	12 委託料				143		165						
	13 使用料及び賃借料				259		238						
	15 原材料費				100		100						
	歳出計(千円)(A)				1,137		1,456						
伸び率(%)						28.05							
備考	総合計画 82 ページ 予算書 157 ページ												

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	開催日数	日	目標	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	参加者数	人	目標	1,500.00	500.00	500.00
	防災訓練、避難所開設訓練参加人数。		実績	1,500.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	災害対策基本法により行う義務がある。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	災害対策基本法によるため妥当である。
	手段の妥当性	C 見直す必要がある	これまでは、防災広場として啓発活動の要素が大きかったが、実践的な訓練を行う必要がある。
効率性	コストの効率性・人員効率	C 改善の余地はある	避難所開設に必要な人員に特化し履行すること等の検討の余地はある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	大規模地震は全域が対象となり、水害を想定した訓練の場合地域は限定されるが、災害に対する対応のため偏りはない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	災害の際に安全な避難誘導を行うため、実践的な訓練となるよう内容を精査する。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	方針が変更となった場合、今後関係機関との調整が必要。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
これまでは、関係機関との連携を披露する防災広場としての			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
災害の可能性が高くなっているため、実務に即した内容の訓練を行っていく。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 感染症対策を含め、実践を想定した訓練を実施する。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	